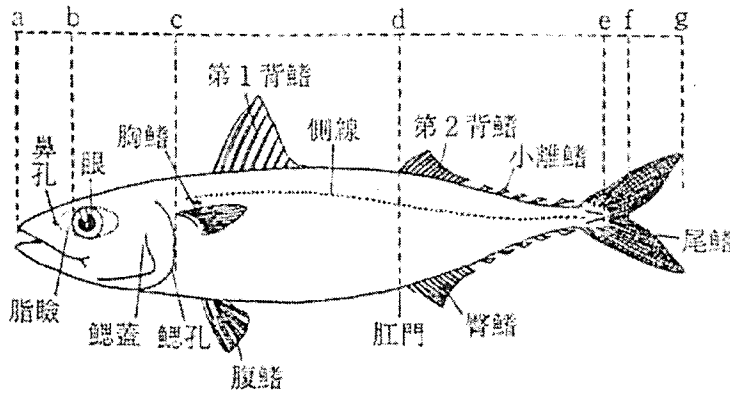


〔 例題 8 〕 次の（1）から（3）の問いに答えよ。

（1）魚の大きさには、さまざまな表し方がある。吻の前端から尾鰭の付け根までの距離（下図 a－e）、吻の前端から尾鰭の切れ込みの内縁までの距離（下図 a－f）の名称をそれぞれ答えよ。



（2）宮城県内で漁獲（県内漁港への水揚げを含む）される魚種のうち、下記①から⑤の特徴をもつ魚の標準和名を答えよ。

- ① 学名は *Thunnus thynnus* である。
- ② 大きいものでは、体長3m、体重400kgに成長する。
- ③ 若魚には体側に十数条の横縞よこしまがあり、ヨコワまたはメジとよばれる。
- ④ 延縄はしなわ、定置網などによって漁獲される。
- ⑤ 我が国周辺水域を含む太平洋を広く回遊する国際資源であり、我が国が全体の約6割を漁獲する最大の漁業国となっている。近年、この魚の資源量は、これまでの最低水準に近い状況にあり、国際的な協力の下で資源の回復を図ることが緊急課題となっている。

（3）次の文章の空欄 に当てはまる語句を答えよ。

水産資源にあまり負荷を与えずに漁獲していると、資源は平衡状態を保ち、漁業経営は安定したものとなる。しかし、限度を超えて漁獲すると、やがて資源は減少する。このような状態を という。